### 問題

【1】問１ 下に示した地形図を参照しながら下記の文章を読み、文中的（）の中から正しいものを一つずつ選んで、その番号を解答欄に記入せよ。（地形図中の横書きの地名は右から書いてある。）

われわれは「五万分の一の地形図」を持って野外の観察に出かけた。

① 1 4
「よしで駅」で車に乗って 2 8 kmあまり離れた 3 20

「かわしま」駅まで行った。線路の両側付近には

② 1 田（乾田） ③ 1 すき林
② 2 普通畑の間に 2 草 地 が点在している
② 3 しほらば林 ③ 3 くわ畑

のが見られた。「かわしま」駅で下車して、線路わきの小道を通って、古屋川の鉄橋のところへ出た。鉄橋のところ
高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
<th>全日</th>
<th>定時</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>から、古屋川の川原を中橋まで歩いた。この川はこの辺で</td>
<td>（④）1 東から西</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>74.4</td>
<td>62.5</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>は、だいだい2 西から東へ流れている。中橋から山</td>
<td>（③）2 南から北</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 走る川に</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>道へかかる。古屋川の川原よりもおおそう</td>
<td>（⑤）1 100 km</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>39.0</td>
<td>33.5</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2 300 m</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 700 m</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ほど高い大村山へ向かった。道の両側には</td>
<td>（⑥）1 木</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>72.5</td>
<td>66.6</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2 竹</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 林</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>が続き、視界がきわまれるところもあるが、大村山の頂上に着いてみると、とても見晴らしがよく、いままで調べてきたところも手にとるように見えた。特に注意して大村山の山地のふもとを見ると、田口から川原田までの間に</td>
<td>（⑦）1 野菜畑</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>76.4</td>
<td>55.5</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2 竹林</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 りんご園</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>近い八幡宮では、さっき登った北霧山付近から大村山まで</td>
<td>（⑧）1 かなり急な道</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>での道にくらべると、</td>
<td>2 ゆるやかな道</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 とてもゆるやかな道</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>た。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>解答欄</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

問2 川島村の東にある新田から通学している木村君が、自分家の家から大村山方面の山地のすがたを正しく描いたスケッチを見せてくれた。木村君が描いた山のすがたは左の図のどれか。正しいと思うものの番号を解答欄に記入せよ。
<table>
<thead>
<tr>
<th>問 題</th>
<th>正答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
<th>全日定時</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

解答欄

[2] 次の1～10の文章のうちから、正しいと判断されるもの四つを選び出し、所定の解答欄にその番号を、番号の順に記入せよ。

1 タイガと呼ばれる大森林帯では、樹種のそろった軟木が多いので、どこでも製材業が栄えている。
2 イギリスで発明されたトロール漁業は、北海と類似の自然条件をもったニューファンドランド近海で行なわれているばかりなら、大陸棚の発達した他の漁場でも行なわれている。
3 日本では、土地利用が集約的であるばかりでなく、内湾では盛んに養殖を行なって、資源を集約的に利用している。このような養殖は他の国では見られない。
4 熱帯の海には、潮目（潮境）もなく、寒海と違って多量のプランクトンが生活しているところも多いので、国際市場と結びつくような漁業は行なわれない。
5 イギリスでは、産業革命が最も早く行なわれ、鉄工業が発展しただけに、現在でも工業の基幹となる鉄・石炭は、いずれも
高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正</th>
<th>答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>国内産ではほぼ需要をまかなっている。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>アメリカ合衆国は豊富な鉄鉱や石油に恵まれているが、さらに外からもそれらの資源を輸入して、重化学工業の発展につとめている。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>マライ半島やキューバなど、プランテーションの行なわれているところは、気候ばかりでなく、肥沃な土壌にも恵まれている。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ニュージーランドとオーストラリアとは羊や牛を中心にして牧畜国であることは共通しているが、人口密度より高いニュージーランドの土地生産性はオーストラリアよりもいちじるしく高く、この点では両者は遠くない。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>気温と降水量に恵まれた九州では、土地利用度が高く、農家の経営規模が小さくて、多くの労力が投下されているので、日本でも土地生産性の高い地方として知られている。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>長野県の盆地に、扇状地の発達がいちじるしいが、水田化への努力が続けられてきたので、耕作の半分近くが水田にひらかれた。また、この地域は、夏は日中の高温に恵まれ、稲作技術の改良もすすみ、水田の単位面積当たり収量は、日本では最も高い地域の一つとなっている。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

解答欄

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>12:00</td>
<td>13:00</td>
<td>14:00</td>
<td>15:00</td>
</tr>
</tbody>
</table>

[3] 次に示す日本の工業に関する問1～問3の問題について答えよ。

問1 第二次世界大戦中から今日にかけて、日本の工業は急速な変化をとげつつある。その急速な変化とは
1 生産の急激な上昇
2 重化学工業化
3 軽工業部門の絶対的減少傾向
4 資本の集中化
5 生産設備の近代化
などいろいろいわれている。次グラフは、以上1～5のどれを最もよく物語っているか。解答欄に番号で答えよ。
高・地

問２ 日本の工業の大半は四大工業地帯に、集中している。そのうちでも、交通や市場に恵まれた中京工業地帯は、戦前に比較して躍進がみだっている。

表中のA～Cはそれぞれ 1 京浜 2 中京 3 阪神

四大工業地帯における生産額の全国比（%）の推移

<table>
<thead>
<tr>
<th>工業地域</th>
<th>A</th>
<th>B</th>
<th>C</th>
<th>D</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>昭和10年</td>
<td>10.7</td>
<td>29.8</td>
<td>8.7</td>
<td>22.7</td>
<td>71.9</td>
</tr>
<tr>
<td>25年</td>
<td>12.0</td>
<td>23.6</td>
<td>6.2</td>
<td>21.8</td>
<td>63.6</td>
</tr>
<tr>
<td>31年</td>
<td>12.6</td>
<td>22.5</td>
<td>4.7</td>
<td>25.2</td>
<td>65.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

問3 工業の発展とともに、新しい工業地域が各地につくられてきた。それは、特に関東・東海・近畿・瀬戸内・北九州にわたる新興地域に集中してみられる。このA群にあげた都市では、どのような工業が中心となっているか。B群の中から工業の種類をそれぞれ一つずつ選んで、解答欄に番号で答えよ。ただし同じ番号の使用は、1回だけと限らない。

A群

ア 姫路市に合併された広畑

イ 遠浅の海岸をうめ、港湾工事用地を

つくったりに干草

都市

ウ 錦川の形成するデルタの上にあり、比較的

工業用水に恵まれた岩国

エ 旭が海軍燃料廠あとを利用して成長した四日市

オ 近くに鋸山をひかえ、石炭の輸送にも恵まれた新居浜
<table>
<thead>
<tr>
<th>問 題</th>
<th>正 答</th>
<th>配点</th>
<th>正 答 率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>ア</td>
<td>2</td>
<td>32.1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>イ</td>
<td>1</td>
<td>10.9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ウ</td>
<td>2</td>
<td>44.2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>エ</td>
<td>2</td>
<td>34.5</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>オ</td>
<td>2</td>
<td>29.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

B群
1. 鉄鋼業
2. 石油製造業
工業の種類
3. 石油製造と化学繊維工業
4. 運輸工業
5. 化学肥料工業と金属工業

解 答 案

<table>
<thead>
<tr>
<th>部 市</th>
<th>ア</th>
<th>イ</th>
<th>ウ</th>
<th>エ</th>
<th>オ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>工業の種類</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（4）次の（①～④）のクライオグラフは、それぞれどんな気候を示しているか。A群の気候区の中から最も適当なものを選び、またB群の中からは、その気候区に最も深い関係のあるものを選び、さらにC群からは、各クライオグラフの示す気候要素が観測された地名を選び、それぞれ、その番号を解答欄に一つずつ記入せよ。

（①）

（②）

（③）

（④）
高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正</th>
<th>答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(e)</td>
<td>(f)</td>
<td>(g)</td>
<td>(h)</td>
<td>(i)</td>
<td>(j)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

A 群 〔気候区〕
1 熱帯雨林気候  2 サバナ気候  3 砂漠気候
4 ステップ気候  5 地中海性気候
6 温帯モンスーン気候  7 西岸海洋性気候
8 亜寒帯（針葉樹林またはタイガ）気候
9 ツンドラ気候

B 群 〔産 物〕
1 米  2 じゃがいも
3 なつめやし  4 Larryやん
5 コルクがし  6 ライ麦
7 さとうきびや棉花

C 群 〔地 名〕
1 イルクツク  2 鹿児島
3 バ リ  4 ジブラルタル
5 ジャカルタ  6 アデナ
7 モン巴萨（東アフリカ）

クライモグラフ  (e)  (f)  (g)  (h)  (i)  (j)
A 群
B 群
C 群

解答欄

[5] 次の八つの世界地図はそれぞれ農畜産物の分布を表わしたものである。各地図は解答欄に示した農畜産物のどれをあらわしたものであるか、該当する地図の番号を解答欄に記入せよ。
高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正 答</th>
<th>配点</th>
<th>正 答 率</th>
<th>全日</th>
<th>定時</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td></td>
<td>(a) 3</td>
<td>3</td>
<td>55.7%</td>
<td>39.0%</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td></td>
<td>(b) 4</td>
<td>3</td>
<td>51.2%</td>
<td>39.8%</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td></td>
<td>(c) 1</td>
<td>3</td>
<td>64.8%</td>
<td>46.6%</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td></td>
<td>(d) 2</td>
<td>3</td>
<td>39.4%</td>
<td>29.5%</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td></td>
<td>(e) 6</td>
<td>3</td>
<td>60.0%</td>
<td>48.7%</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td></td>
<td>(f) 8</td>
<td>3</td>
<td>40.8%</td>
<td>30.7%</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

解答欄

<table>
<thead>
<tr>
<th>産物</th>
<th>(a)大豆</th>
<th>(b)小麦</th>
<th>(c)さとう</th>
<th>(d)とうもろ</th>
<th>(e)羊</th>
<th>(f)牛</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>地図</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

[6] 次の（a）～（e）の表は、それぞれある国と日本との貿易（1958年）を示したものである。各表にあてはまる国を表の下に付記してある事項をも参考にして、下の国名群の中から選び、その番号を解答欄に記入せよ。

1 中華民国（台湾）
2 パキスタン
3 フィリピン
4 マラヤ連邦
### 高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>略</th>
<th>正答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>5</td>
<td>インド</td>
<td>6</td>
<td>インドネシア</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>カナダ</td>
<td>8</td>
<td>西ドイツ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>ソビエト連邦</td>
<td>10</td>
<td>イギリス</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(a) 億円

<table>
<thead>
<tr>
<th>日本から輸入</th>
<th>日本へ輸出</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>鉄鋼</td>
<td>142.2</td>
</tr>
<tr>
<td>機械類</td>
<td>51.5</td>
</tr>
<tr>
<td>車両部品</td>
<td>31.4</td>
</tr>
<tr>
<td>人経繊物</td>
<td>9.6</td>
</tr>
<tr>
<td>金属製品</td>
<td>6.6</td>
</tr>
<tr>
<td>化繊繊物</td>
<td>1.8</td>
</tr>
<tr>
<td>綿繊物</td>
<td>1.4</td>
</tr>
<tr>
<td>医療用機械</td>
<td>1.2</td>
</tr>
<tr>
<td>計（その他とも）</td>
<td>305.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. 北回帰線がだいている国土の中央を通る。
2. 人口密度 120人/km²

(b) 億円

<table>
<thead>
<tr>
<th>日本から輸入</th>
<th>日本へ輸出</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>機械類</td>
<td>80.6</td>
</tr>
<tr>
<td>鉄鋼</td>
<td>59.1</td>
</tr>
<tr>
<td>繊維物</td>
<td>47.2</td>
</tr>
<tr>
<td>魚介類</td>
<td>24.1</td>
</tr>
<tr>
<td>金品・貨車</td>
<td>18.6</td>
</tr>
<tr>
<td>セメント</td>
<td>5.0</td>
</tr>
<tr>
<td>グルタミン酸</td>
<td>2.0</td>
</tr>
<tr>
<td>陶磁器</td>
<td>1.3</td>
</tr>
<tr>
<td>計（その他とも）</td>
<td>322.4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. だいたいの位置 北緯5°〜北緯20°
2. 人口密度 76人/km²

(c) 億円

<table>
<thead>
<tr>
<th>日本から輸入</th>
<th>日本へ輸出</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>杖属製品</td>
<td>54.7</td>
</tr>
<tr>
<td>金屬製品</td>
<td>21.8</td>
</tr>
<tr>
<td>機械類</td>
<td>20.7</td>
</tr>
<tr>
<td>繊維物</td>
<td>18.4</td>
</tr>
<tr>
<td>光学機器</td>
<td>15.8</td>
</tr>
<tr>
<td>玩具</td>
<td>15.7</td>
</tr>
<tr>
<td>合成物</td>
<td>13.9</td>
</tr>
<tr>
<td>機械類</td>
<td>13.5</td>
</tr>
<tr>
<td>金屬製品</td>
<td>11.5</td>
</tr>
<tr>
<td>機械類</td>
<td>5.6</td>
</tr>
<tr>
<td>計（その他とも）</td>
<td>274.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. だいたいの位置 北緯50°〜北緯80°
2. 人口密度 2人/km²
高・地

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(d)</td>
<td>億円</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>日本から輸入</th>
<th>日本へ輸出</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>化学・肥料</td>
<td>72.0</td>
</tr>
<tr>
<td>機械</td>
<td>67.5</td>
</tr>
<tr>
<td>鋼</td>
<td>52.2</td>
</tr>
<tr>
<td>船舶</td>
<td>26.2</td>
</tr>
<tr>
<td>金属製品</td>
<td>21.1</td>
</tr>
<tr>
<td>セメント</td>
<td>5.2</td>
</tr>
<tr>
<td>空気</td>
<td>4.3</td>
</tr>
<tr>
<td>魚介類</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>計（その他も）</td>
<td>324.1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. 北回帰線がだいたい国土の中央を通る。
2. 人口密度264人/km²

<table>
<thead>
<tr>
<th>日本から輸入</th>
<th>日本へ輸出</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>化繊製品</td>
<td>21.2</td>
</tr>
<tr>
<td>繊織物</td>
<td>16.0</td>
</tr>
<tr>
<td>魚油・鯨油</td>
<td>14.2</td>
</tr>
<tr>
<td>魚介類</td>
<td>8.0</td>
</tr>
<tr>
<td>機械</td>
<td>7.3</td>
</tr>
<tr>
<td>餐</td>
<td>6.4</td>
</tr>
<tr>
<td>纖維物</td>
<td>5.6</td>
</tr>
<tr>
<td>糖</td>
<td>2.9</td>
</tr>
<tr>
<td>計（その他も）</td>
<td>115.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1. だいたいの位置北緯47°～北緯55°
2. 人口密度208人/km²

解答欄

<table>
<thead>
<tr>
<th>答</th>
<th>(a)</th>
<th>(b)</th>
<th>(c)</th>
<th>(d)</th>
<th>(e)</th>
</tr>
</thead>
</table>

| 国名 | |

[7]

問1

次のA群のa～dのことがらを示す場合には、B群の投げ法のうち、どれを選んだら最もよいか。一つずつ選んで、その番号を解答欄に記入せよ。

A群

a 世界の主要航路  b ユーラシアの人口密度
c 世界の植物帯  d 世界の工業地帯
### 問2

問1に示したA群のa〜dのそれぞれの事項を研究する場合に、あわせて利用すると、最も役だつと思われる図表を、次のa〜dのうちのうちからそれぞれ二つずつ選んで、その番号を解答欄に記入せよ。

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正 答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>B</td>
<td>群</td>
<td></td>
<td>b  1</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>ボンヌ図法</td>
<td></td>
<td>a  5</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>ミルワイデ図法</td>
<td></td>
<td>b  2</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>正(直)射図法</td>
<td></td>
<td>c  2</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>グード(ホモロライン)図法</td>
<td></td>
<td>d  4</td>
<td>2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>解答欄</th>
<th>a</th>
<th>b</th>
<th>c</th>
<th>d</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>A 群</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>B 群</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

3〜dのいずれも
番号の順序はかまわない

<table>
<thead>
<tr>
<th>問</th>
<th>題</th>
<th>正 答</th>
<th>配点</th>
<th>正答率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>b  2</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>c  2</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>d  4</td>
<td>2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>解答欄</th>
<th>a</th>
<th>b</th>
<th>c</th>
<th>d</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>a</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>b</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>c</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>d</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>